

施策評価シート

年度

4

1. 基本情報

まちづくり目標	健やかな暮らしを守り支え合うまち		
施策	健康に暮らせるまちづくり		
基本施策	健康づくりと予防対策の推進		
取り組み事項	健康づくり意識を醸成する		
主管部局	健康福祉部 子育て元気課	関連部局	

めざす暮らしの姿

健康づくりと予防対策の推進

基本方針

市民一人ひとりが自ら主体となって健康づくり・健康管理を行い、生涯にわたり健康な体と豊かな心で暮らせるまちを目指す。健康づくりの場と機会を提供し、市民の健康維持・健康増進の意識を高め、健康の自己点検のための生活習慣病健康診査をはじめとした各種健康診査及び相談体制の充実を図る。また、食を知り市民が主体となる食育の輪を広げる。さらに、感染症対策の情報を正確かつ迅速に提供できる体制を強化する。

施策の方針

保健センターを拠点とした各種健康づくり事業を展開し、市民自らが主体となって健康づくりに取り組む意識を醸成する。

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
正規職員数		0.95	1.4	2.13	0.71	0.71
会計年度任用職員数		0.26	0.26	0.26	0.12	0.12
人件費計		6,813,359	11,090,639	14,208,762	4,786,192	4,786,192
事業費計		35,517,330	28,345,097	43,884,000	3,023,060	3,023,060
フルコスト		42,330,689	39,435,736	58,092,762	7,809,252	7,809,252

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
特定財源						
国庫支出金		130,000	174,000	145,000	0	0
県支出金		797,000	1,136,000	1,222,000	27,000	27,000
市債					0	0
その他		10,009,624	8,784,000	12,400,000	862,000	862,000
一般財源1		31,394,065	29,341,736	44,325,762	6,920,252	6,920,252
一般財源2		24,580,706	18,251,097	30,117,000	2,134,060	2,134,060

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	【質】健康ポイント参加者(相生市に参加報告した方)					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
単年度目標値		250	250	250	250	250
単年度実績値		231	235			
単年度達成率	-	92.4%	94%	-	-	-

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	【質】健康ポイント参加者(相生市に参加報告した方)
前年度との比較	↑:向上
所見	ポイント参加者が伸び悩んでおり、特に若年層の参加が少なく改善が必要であり、市民へ効果的に普及・啓発できるよう、コンテンツを工夫したり、その他事業等も活用していく。

評価対象外の構成事務事業一覧

事務事業名	
若年者の在宅ターミナルケア支援事業	
保健対策推進事業	
後期高齢者健康増進事業	
健康増進事業	
食育推進事業	

施策の事後総合評価

(1) 施策成果指標

施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
【質】健康ポイント参加者(相生)	94%	↑:向上	94%
【総合評価】施策成果指標	単年度目標平均達成率(a)	達成度 ((a)による自動判定)	達成状況
	94%	中	保留
	達成状況の原因分析、説明等		

(2) 施策の事後総合評価

当初方針の通りに進んだか	はい 事業実施としては予定通り行えた
構成事務事業に課題はないか	ない 見直しを行いながら実施できている
施策の総合評価	B:おおむね順調に進捗している
施策の方針に対する実績、指標の達成状況の分析、今後の課題・方向性	市民へ効果的に普及・啓発できるよう、実施方法等の工夫を行い、引き続き健康づくりと予防対策を進める
今年度の成果等	若年者から高齢者までを対象として12日間の集団健診による基本健康診査、がん検診等を実施し、生活習慣病の予防及び早期発見による重症化の予防を図り、市民が健康に暮らせる環境づくりに努めた。食育推進事業では、「野菜を食べよう～まずは野菜からいただきます～」をテーマにし、各担当課、他団体等連携をし、活動を行った。
第三者評価委員会意見	

施策評価シート

年度

4

1. 基本情報

まちづくり目標	健やかな暮らしを守り支え合うまち		
施策	健康に暮らせるまちづくり		
基本施策	健康づくりと予防対策の推進		
取り組み事項	感染症などの予防を推進する		
主管部局	健康福祉部 子育て元気課	関連部局	

めざす暮らしの姿

健康づくりと予防対策の推進

基本方針

市民一人ひとりが自ら主体となって健康づくり・健康管理を行い、生涯にわたり健康な体と豊かな心で暮らせるまちを目指す。健康づくりの場と機会を提供し、市民の健康維持・健康増進の意識を高め、健康の自己点検のための生活習慣病健康診査をはじめとした各種健康診査及び相談体制の充実を図る。また、食を知り市民が主体となる食育の輪を広げる。さらに、感染症対策の情報を正確かつ迅速に提供できる体制を強化する。

施策の方針

感染症発生などの緊急時に対応するため、感染症対策の充実に努め、予防対策や市民への正確かつ迅速な情報提供により、感染拡大の防止に努める。また、予防接種については、正しい知識の普及と理解に努め、接種率の向上に努める。

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
正規職員数		4.13	3.23	4.05	0.0	0.0
会計年度任用職員数		0.1	0.1	1.1	0.0	0.0
人件費計		28,169,296	24,855,569	27,924,000	0	0
事業費計		301,050,717	226,194,329	105,794,000	0	0
フルコスト		329,220,013	251,049,898	133,718,000	0	0

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
特定財源						
国庫支出金		152,965,923	244,825,000	7,864,000	0	0
県支出金		0	25,000	25,000	0	0
市債					0	0
その他					0	0
一般財源1		176,254,090	6,199,898	125,829,000	0	0
一般財源2		148,084,794	-18,655,671	97,905,000	0	0

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	【量】定期予防接種A類接種率					
単位	%					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
単年度目標値		100	100	100	100	
単年度実績値		79.7	93			
単年度達成率	-	79.7%	93%	-	-	-

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	【量】定期予防接種A類接種率
前年度との比較	↑：向上
所見	市民に対して正しい知識の普及を行い、対象に対しては接種時期を捉えた接種勧奨を適宜行い接種率の向上に努めた。

評価対象外の構成事務事業一覧

事務事業名	
予防接種事業	
感染症予防事業	
新型コロナウイルスワクチン接種事業	

施策の事後総合評価

(1) 施策成果指標

施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
【量】定期予防接種A類接種率	93%	↑:向上	93%
【総合評価】施策成果指標	単年度目標平均達成率(a)	達成度 ((a)による自動判定)	達成状況
	93%	中	B:おおむね順調
	達成状況の原因分析、説明等 接種率100%を目指し今後も引き続き効率的かつ有効な接種勧奨など周知が必要である。		

(2) 施策の事後総合評価

当初方針の通りに進んだか	はい 概ね計画通りに進んでおり、現在の事業を継続的に展開予定である。
構成事務事業に課題はないか	ある 対象者への接種勧奨の機会を捉え、引き続き効率的かつ有効な周知が必要である。
施策の総合評価	B:おおむね順調に進捗している
施策の方針に対する実績、指標の達成状況の分析、今後の課題・方向性	感染症を予防するには、予防接種により市民全体の免疫水準を維持し一定の接種率を確保することが重要である。そのため、通年による予防接種機会の確保を図り継続して事業を進める。
今年度の成果等	新型コロナウイルスワクチン接種事業については、各医療機関で実施する個別接種の方法で体制整備を行い、医療機関等関係機関と連携・協力しながら、スムーズに接種することができた。
第三者評価委員会意見	

事務事業評価シート

年度

4

1. 基本情報

事業番号	030402010003	事務事業名	健康づくり推進事業
まちづくり目標	健やかな暮らしを守り支え合うまち	施策	健康に暮らせるまちづくり
基本施策	健康づくりと予防対策の推進	取り組み事項	健康づくり意識を醸成する
部名	健康福祉部	課名	子育て元気課
事業の開始	平成20年度	終了年度	なし
実施の概要	健康づくりの場と機会を提供し、市民の健康維持・健康増進の意識を高め、健康の自己点検のための生活習慣病健康診査をはじめとした各種健康診査及び相談体制の充実を図る		
対象	39歳以下の市民		
目的	市民一人ひとりが自ら主体となって健康づくり・健康管理を行い、生涯にわたり健康な体と豊かな心で暮らせるまちを目指している		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	法律・政令・省令 健康増進法、地域保健法、国民健康保険法		

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
正規職員数		0.24	0.44	0.66	0.66	0.66
会計年度任用職員数		0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
人件費計		1,769,594	3,512,412	4,431,835	4,431,835	4,431,835
事業費計		1,910,737	1,928,193	2,747,000	2,688,000	2,688,000
フルコスト		3,680,331	5,440,605	7,178,835	7,119,835	7,119,835

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
特定財源						
国庫支出金		0	0	0	0	0
県支出金		0	27,000	27,000	27,000	27,000
市債		0	0	0	0	0
その他		465,600	562,000	562,000	562,000	562,000
フルコスト－特定財源		3,214,731	4,851,605	6,589,835	6,530,835	6,530,835
事業費計－特定財源		1,445,137	1,339,193	2,158,000	2,099,000	2,099,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【量】基本健診受診率					
単位	%					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		7	7	7	7	7
単年度実績値		5.1	4.8			
前年比	-	-	94.11%	-	-	-
単年度達成率	-	72.85%	68.57%	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1	39歳以下の基本健診1%あたりのフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値		525,761.5714	777,229.2857	1,025,547.8571	1,017,119.2857	1,017,119.2857
単年度実績値		721,633.5294	1,133,459.375			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	コロナ禍による外出自粛により生活習慣の変化やからだへの影響が報告されている中、健康管理への意識を高める機会としては社会情勢に適合している。また、健診が義務付けられる年齢の前から受診することで、自己管理の意識も高めることができる。	なし
有効性	B: 比較的有效である	新型コロナウイルス感染症の流行に伴い受診人数が伸び悩んでいるが、受診機会のない若年者にとってよい機会となっている。また、第6次相生市総合計画の健康づくりの分野に事業が位置づけられており、直接的に貢献できている。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	基本健診とがん検診が同時実施できるため、余暇の少ない働き盛りの世代にとって効率的に行えている。ただし、現状より受診しやすい環境を整えるため、健診機関、医師会等との調整が必要である。	あり
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	受診環境の面では、事業改善は達成できていない。ただし、関係法令等に沿った内容で事業が展開できている。	あり
透明性	C: 透明性が低い	広報紙等での周知や節目を迎える方へダイレクトメールを実施。更なる積極的な周知をしていく。	あり

(2) 総合評価

総合評価
B

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、受診者数が減少しているが、コロナ禍だからこそ健康への意識を高める必要があるため、周知方法の見直しを行いながら、他事業や他課と協力して受診者の増加につなげていく。
休止・廃止となったときの影響	早期発見が遅れる可能性があり、身体的・経済的な負担だけでなく生命の維持までもが脅かされる

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	健康への意識を高めるためにも、周知方法等の見直しを行い、生活習慣病健康診査をはじめとした各種健康診査等、他事業や他課と協力して受診者の増加を図る。

事務事業評価シート

年度

4

1. 基本情報

事業番号	030402010005	事務事業名	健康ポイント制度事業		
まちづくり目標	健やかな暮らしを守り支え合うまち	施策	健康に暮らせるまちづくり		
基本施策	健康づくりと予防対策の推進	取り組み事項	健康づくり意識を醸成する		
部名	健康福祉部	課名	子育て元気課		
事業の開始	平成27年度	終了年度	なし		
実施の概要	ポイントカードを配布し、健診受診や日々の運動等を実践したポイント達成者に記念品を贈呈する。				
対象	20歳以上の市民				
目的	健康づくりと予防対策につながる運動習慣等の周知を図る。				
事務事業類型	ソフト事業				
関連計画					
根拠法令					

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
正規職員数		0.05	0.05	0.26	0.05	0.05
会計年度任用職員数		0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
人件費計		367,491	411,786	1,716,818	354,357	354,357
事業費計		376,610	335,060	473,000	335,060	335,060
フルコスト		744,101	746,846	2,189,818	689,417	689,417

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	令和6年度	令和7年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	300,000	300,000	431,000	300,000	300,000
フルコスト－特定財源	444,101	446,846	1,758,818	389,417	389,417	
事業費計－特定財源	76,610	35,060	42,000	35,060	35,060	

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【質】ポイント達成者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値						
単年度実績値		231	235	0	0	
前年比	-	-	101.73%	-	-	-
単年度達成率	-	-	-	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1	ポイント達成者数1人当たりのフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
単年度計画値						
単年度実績値		3,221.2165	3,178.0681			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	市民自らが日々目標を持って運動等に取り組んでいくことにより健康増進を図ることは、医療費の抑制にもつながるため、市にとって有意義である。	なし
有効性	B: 比較的有効である	ポイント達成者に記念品を贈呈することにより、さらなる意欲の向上を図っている。	なし
効率性	B: 比較的効率的である	ポイント達成者(応募者)が伸び悩んでおり、特に若年層の参加が少なく改善が必要。	あり
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	周知方法として、インスタグラムなどを活用したり、記念品をカブ計からスマートウォッチに変更するなど、若年、中年層にも興味を引きやすいものに変更したが、なかなか効果が見られない。今後引き続き周知方法や記念品など効果的なものを考案していくことが必要である。	あり
透明性	A: 透明性が高い	ポイントカードを広報あいおい折込みにて全戸配布し、広く市民へ情報発信し周知している。	なし

(2) 総合評価

総合評価
B

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	アンケート結果から参加者は65歳以上が約9割を占め、中年・若年層の参加が少ないことがわかった。今後も継続して効果的な普及・啓発ができるようアプリの活用も視野に入れ、工夫をしていく。
休止・廃止となったときの影響	

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	市民へ効果的に普及・啓発できるよう、コンテンツ等の工夫を行い、特に若年、中年層の参加者の増加を図り、引き続き健康づくりと予防対策につながる運動習慣等の定着を図る。